

令和7年度 第2回 鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）推進委員会

日時：令和8年1月30日（金）14：00～16：00

場所：鶴見区役所6階 8号会議室

推進委員：小林委員長、八森副委員長、

芦澤委員、石井委員、板山委員、祝出委員、小林（広）委員、斉藤委員、

清水委員、巴委員、日向委員、福井委員、松坂委員、宮野委員

（欠席：押山委員、平森委員）

事務局：【区役所】

区長、副区長、福祉保健センター長、福祉保健センター担当部長、福祉保健課長、高齢・障害支援課長、高齢・障害支援課地域包括ケア推進担当係長、こども家庭支援課長、生活支援課長、生活支援課担当課長、区政推進課地域力推進担当課長、区政推進課地域力推進担当係長、福祉保健課事業企画担当係長、事業企画担当職員

【区社協】

鶴見区社会福祉協議会会長、事務局長、事務局次長、事務局職員

1 開会（進行：福祉保健課事業企画担当係長）

資料の確認、写真撮影の承認及び議事録のホームページへの掲載について確認。

2 委員長あいさつ

日ごろから鶴見区の各地域において様々な活動に取り組んでいただき、自治会町内会を代表してお礼申し上げます。先月、第5期鶴見・あいねっとの計画案の確認を行いました。本日は改めて事務局より説明をいただき、推進委員の皆さまからも日々の想いや、感じられていることのご意見いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

3 区長あいさつ

委員の皆さまにおかれましては、第4期鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）の推進、第5期計画の策定につきまして多大なるご尽力をいただきありがとうございます。

本日の推進委員会では、昨年開催した策定検討プロジェクトで皆さまに御議論いただいた第5期計画の確認に加え、3月20日に開催予定の第20回鶴見・あいねっと推進フォーラムの実施内容について共有させていただく予定です。

特に第5期計画については、これまでに開催した推進委員会や策定検討プロジェクトでお話いただきましたが、普段活動されている中で皆さまが感じられている思いを踏まえて作成させていただきました。

また、第5期計画のお披露目となる鶴見・あいねっと推進フォーラムについては、計画策定の議論の中でお話いただいた皆さまの思いがうまく区民の方々に伝わり、共感いただけるよう工夫いたしました。

後ほど事務局から報告させていただきますが、それをお聞きいただいた上で、皆さまの思い等を是非ご発言いただき、活発な議論になることを期待しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

4 区社会福祉協議会会長あいさつ

日ごろより鶴見・あいねっと推進にご尽力いただき感謝申し上げます。皆さまのご尽力を賜り、第5期鶴見・あいねっと計画を提示することができました。

3月20日の鶴見・あいねっと推進フォーラムでは皆さまの思いが反映され計画が発表できるよう区社協も皆さまと一緒に進めてまいりたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

5 議事（進行：八森副委員長）

（1）第5期鶴見・あいねっと 区（全体）計画の最終案について

（説明：事業企画担当係長）（資料2、資料3）

先月実施した策定検討プロジェクトでご確認いただいた内容を改めてこの場でご説明させていただきます、ご承認いただきたいと考えています。

第5期計画の冊子最終案については、現在の第4期計画の振り返りの内容や、これまでの推進委員会等でお話いただいた内容をもとに作成させていただきました。

一つ目のポイントは「鶴見・あいねっとの内容をもっとわかりやすく」という点、二つ目のポイントは「様々な方にもっと身近に感じていただけるように」という思いを込めたという点です。

【表紙・裏表紙について】

今まで鶴見・あいねっとに関わってきていただいた方々を大事にしつつ、新たに多くの方にあいねっとを知ってもらいたいという観点からまとめています。

表紙の右上「つながるってちょっといいかも」という負担感のないつながりの大切さを示すフレーズや、策定検討プロジェクトの中で御意見のあった「鶴見で幸せに暮らすためのガイドブック」というフレーズも盛り込み、地域福祉保健計画を知らない方にとっても、どのような計画冊子であるかが一目でわかるように工夫しました。

先月のプロジェクトで「鶴見で幸せに暮らすためのガイドブック」をより強調すべきという御意見をいただきました。冊子では棚に格納されることが多いかと思えます。上1/3が覗いている状態だと、色を変えると遠目から見た時に少しわかりづらくなってしまおうという懸念がありました。黒字のまま、遠目を見た時に「鶴見」がつぶれて見えてしまうので、ひらがな表記とし、全体的に少しだけ文字を大きくしました。

【内容】

沢山の内容を盛り込んだので、ページの端と下部に章番号を記載し、その章を色で分けるなど工夫をしました。

P1～2は広報担当のあいねっとちゃんの紹介をし、親しみやすさを入れました。

P3に目次を掲載し、隣のP4にはコラムテーマ一覧としてコラムの項目別（交流、子ども、支援、相互理解、担い手）に掲載しています。

P5～6には鶴見区の特徴的なデータを盛り込んだり、「あいねっとちゃんの主観で語る鶴見区民」として、「鶴見区民はとにかくお祭り好き」など比較的多くの方が思われているのではないかと、あいねっとちゃんを通して柔らかく伝えるコーナーを設けています。

P7の方向性については、柱というフレーズから連想される柱のイラストを使い「めざす姿」

「基本理念」を支える神殿調に仕上げています。

P31 から続く地区別計画では、カラーであるという特色を生かして、各地区で象徴的な写真を掲載するなど、従来から続く文言と併せて、読み手にとって魅力のある地区だと思われるような工夫をしています。柱1～3については時間の関係上、説明は割愛いたしますが先月の策定プロジェクトで紹介させていただいた点からの変更はありません。

【コンパクト版】

先月の策定検討プロジェクトでもご説明差し上げた通り、第4期はA4版12ページの概要版を作成しましたが、第5期計画ではA4二つ折りのコンパクト版を作成しました。

特徴としては、イベント等で配りやすいという利便性もありますが、それ以上に区民の方々にとって受け取りやすく、持ち帰りやすいという利点があります。懸念点としては、文字が小さくなってしまいます。地域の会議の場では、大きいサイズのニーズもあると思うので、A3判も用意しました。

内容については小さなお子さんや外国にルーツのある方々でも、あいねっとのエッセンスが理解できるようにやさしい日本語でまとめました。記載の内容についても、柱1のつながりの「例えばこんなこと」として、「まちの行事にってみよう」や「まちの情報をさがしてみよう」など、すぐにできそうな、いわゆる「あいねっとのとっかかり」となる内容を中心に記載をしています。このコンパクト版で鶴見・あいねっとに興味を持った人向けに右下に二次元コードを掲載し、あいねっと本体に誘導するようにしています。

（八森副委員長）事務局から説明を受けた内容で承認をしていただきたいと思います。その前に事務局から委員の皆さまへ伝えたいことがあると聞いていますので、報告をお願いします。

（事業企画担当）令和6年、7年度の推進委員会・策定検討プロジェクトの振り返りについて、委員の皆さまへの感謝の意を込めて、令和6年より2年間を通して進めた策定のプロセスをスライドにまとめました。

【令和6年度】

第1回推進委員会（7月）では横浜市地域福祉保健計画における7つのポイントを元に鶴見区ではどのような地域を目指していくのか議論を行いました。こんな地域にしたいや大切にしたいこと皆さまの想いを伺うことができ、これから2年間の策定に向けてのよいスタートとなりました。

第1回策定検討プロジェクト（10月）を立ち上げ、地域活動されている3名の委員を迎えました。これつる浜田氏、Omoshiro 勝呂氏、交通安全協会大野氏にご参加いただき、地域の気づきや課題、大切にしたい視点についてお話いただきました。ここでは、多様な意見が出て、複雑だった議論を八森先生の板書でまとめられ理解が深まりました。また先生の書き出された意見から「声をかける」「気づく」「つながる」等の地域を支える視点・キーワードが整理できました。先生のご尽力には本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

第2回策定検討プロジェクト（12月）では「鶴見・あいねっとを身近に思ってもらうためには」というテーマで意見交換をしました。「活動を知ってもらう」「住民が活動しやすいきっかけを作りたい」等のアイデアが出ました。また、温かく実践的なアイデアも出ました。

第2回推進委員会（1月）では「垣根を超えてつながるまち」というテーマで議論を行いました。

た。世代の垣根、地域の垣根、分野の垣根、様々な視点からの活発な意見が生まれ、最後には「鶴見だろ、垣根は乗り越えられる」という力強い言葉ができました。こちらについては計画冊子のP9にコラムとして掲載しています。

【令和7年度】

第3回策定検討プロジェクト（6月）は「よりより冊子にむけて」としてデータの見せ方、デザイン、表現の工夫についての意見交換を行いました。

第4回策定検討プロジェクト（12月）では「より多くの方に第5期鶴見・あいねっと計画を届けるため」の周知方法について話し合いを重ねました。冊子に合わせて、新しいあいねっとちゃんのイラストが誕生し、手に取ってもらいやすい冊子が出来上がったと思います。

2年間にわたり、熱心なご議論をいただき感謝いたします。皆さまと一緒に鶴見区の未来について考え、有意義な議論ができたと思います。

策定した計画を元に、地域の取組を皆さまとともに地域をささえて、進めて参ります。これからもご協力をお願いいたします。

（八森副委員長）事務局の皆さま、労をねぎらうようなコメントありがとうございます。分かりやすく、身近に色々な方に伝わりやすく、多くの人に、若い世代につながるような工夫がされた計画冊子になったかと思います。

それでは第5期計画、ならびに冊子、コンパクト版につきまして、ご承認いただくことでよろしいでしょうか。ご承認いただける場合、拍手をお願いします。

（一同拍手）

ご承認、ありがとうございます。素晴らしい計画についてより多くの方に知ってもらうために、お披露目となる推進フォーラムを開催すると聞いています。続いて議題(2)第20回(令和7年度)鶴見・あいねっと推進フォーラムについて、事務局から説明をお願いします。

（2）第20回（令和7年度）鶴見・あいねっと推進フォーラムについて

（説明：区社協事務局次長）（資料4）

今年のサブタイトルは「想いをつなぐとまちが動き出す」としました。1部は社会福祉功労者感謝会の表彰式、2部は事例発表という二部構成となります。今年度は令和8年3月20日（金・祝）に鶴見公会堂にて開催を予定しております。

第2部の冒頭では、上の宮中学校の和太鼓部の演奏を予定しています。

その後、第5期鶴見・あいねっと計画の説明をします。より多くの方に計画を知ってもらうために動画を作成したので、皆さまに見ていただく予定です。また、事例紹介としては、市場大和町自治会、鶴見グランドハイツ自治会、生麦住宅自治会の移動販売の事例を取り上げた。事例動画も作成しました。

まずは、第5期鶴見・あいねっと計画動画をご覧ください。

（第5期鶴見・あいねっと計画動画視聴）

昨年12月プロジェクトでご意見があったように鶴見・あいねっと計画により関心を持ってもらいやすいよう、データ編を活用しました。外国籍の人数や老人クラブの設置率など、象徴的なデータから鶴見区を知ってもらい、興味を持ってもらえるようテンポよく紹介しております。また、18地区の写真を3つの柱と共に紹介することで、地区の皆さまにも親しみをもってもらえる構成としました。

次に地域活動の事例として動画を作成したので、ご覧ください。

(地域活動の事例動画を視聴)

皆さま、いかがでしたでしょうか。

この取り組みは、地域の高齢者の「買い物が大変」という困りごとの声を受けて、地域の皆さまや関係者が想いをつなぎながら、まちが協力して動き出し形になったものになります。動画では、導入までの経緯や想い、利用している方の声などをご紹介します。移動販売は買い物の場にとどまらず、利用される方々の交流や見守りの機会にもなり、つながりづくりや役割づくりにもつながるものとなっています。困りごとの解決方法はいろいろな形がありますが、その一つとしてご紹介する事例となっています。

動画をご覧いただいた後は、各地区の皆さまと、八森先生とのセッションを行っていただくことにより、第5期鶴見・あいねっとの要素に触れながら、参加者全体で計画への理解を深める時間としていただく予定です。

なお、このほかに、会場内のロビーでは障害者施設の自主製品を販売する「鶴っこ販売」やボランティア団体紹介とクイズコーナーなども出店を予定しており、どなたでも気軽にお越しただき楽しんでいただけるものとなっております。

また、当日の配布物として、第5期計画の冊子及びコンパクト版、社会福祉功労者顕彰者一覧を配布いたします。例年作成しているフォーラム冊子は配付しない予定となっております。ご承知おきください。

(八森副委員長) ありがとうございます。様々な方が入りやすい切り口での動画になったかと思えます。また移動販売の事例についても、地域の課題を解決に向けてのプロセスが第5期鶴見・あいねっとの3つの柱を体言したものとなっております。当日は事例を掘り下げながら紹介していきます。それでは今年度のフォーラム企画につきまして、ご承認いただくことでよろしいでしょうか。

(拍手)

ご承認、ありがとうございます。

当日はたくさんの方をお誘いの上、盛り上がっていくとよいと思います。

さて、計画、冊子等が承認され、策定が終わったの感想や、今後の第5期推進に向けての意気込みなどを皆さまからいただきたいと思えます。

(祝出委員) 第5期計画策定に、私自身は子育て支援という立場から意見を出させていただきましたが、様々な分野、立場の方々からのご意見を伺って大変学びになりました。子育て世代は、子供が生まれて初めて地域福祉というものを意識し始めるようになる方が多いです。その中で、可愛いデザイン「あいねっとちゃん」が優しく鶴見を紹介してくれる、このデザインのおかげで、ぐっと地域を身近に感じられるようになっていると感じます。

第5期計画の推進に向けて、これからも区民の皆さまに優しく届くように関わらせていただきたいと思います。

(小林(広)委員) 鶴見国際交流ラウンジでは、国・国籍といった垣根を超えて住民、区民の皆さまと一緒に幸せに暮らしていくにはどうしていけばいいかということを考えながら色々な取組をさせていただいております。今回の第5期計画の内容につきましても、優しい日本語で、外国の方が読んだ時にも分かりやすいように、ということをご提案させていただき、それを反映していただけたことを嬉しく思っております。

鶴見区は多様性のある区ですので、これからも国にかかわらず、様々な方が仲良くできるように取り組んでいきたいと思っております。

(芦澤委員) 策定の途中から委員として関わってきましたが、皆さまの熱意を感じ、とても楽しい資料ができたということ、自分も策定に参加できたということをととても嬉しく思います。また、デザインも今までと違ってとても明るく楽しく、もらって見てみようかなという気持ちになるのではないかと思いますので、これからもあいねっとを広めていきたいと思っております。

(巴委員) 私はスポーツ推進委員という立場で、あいねっとの3つの柱のうち、「つながり」「すこやか」というところを中心に関わってきました。昨年、スポーツ基本法が改正され、スポーツは「する」「見る」「支える」に加えて、「つながり」「集う」という視点が加わりました。これについては、あいねっとの3つの柱である「つながり」「たすけあい」「すこやか」にも通ずるということで、私たちも柱や精神に基づいて、今後とも区民の皆さまと楽しく一緒にスポーツを通じて、つながってまいりたいと思っております。

(齊藤委員) 今回のお話を聞いていて、いいテーマですごくいい切り口だと思えました。障害のある方というのはつながりを必要としている人たちですが、つながる目的って何だろう、つながる方向ってどういったものなのだろう、というさまざまな視点を今回の冊子へ入れてくださり、さらにフルカラーで、メッセージがとても伝わってきました。これは地域住民目線で、障害者の方に「つながるってちょっといいかも」って思わせるきっかけになっている、という点で障害者のご家族にとってもとてもいいのではないかと思います。今回のこの本、「きれいでかわいいから受け取って」と支援に関わっている人たちにも伝えやすい、伝わりやすいようなものにしていただいたことに感謝しております。

（福井委員）冊子を見せていただきましたが、非常によくできていると思います。冊子全体を通して具体的に私たちの団体をどのように助けていただける、つながっていただけるといった記述はありませんが、何らかの形でつないでくださる、助けていただけるということを期待しております。

（清水委員）この2年間、策定メンバーに入らせていただいて本当に良かったです。皆さまといろいろ交流ができて、様々な意見を聞かせていただき、また自分自身もいろいろな思いを皆さまの前で発言をさせていただき、2年間貴重な体験をさせていただきました。動画の中で移動販売の事例が取り上げられていましたが、「こんなことができるんだよね」「移動販売ってできるかな」と、ちょっとささやいていたことが2ヶ月、3ヶ月後にこうして叶ってるということで、パワフルでダイナミックな行動に感動しました。たすけあい、支えあい、人と人のネットワークを地で行っているなど、今日動画を見せていただいて、嬉しくて感動でした。このあとすぐ「動画を見ました」という感動の声を伝えたいと思います。2年間ありがとうございました。

（松坂委員）この会に参加でき非常に参考になりました。特に災害関係で、地域の防災活動に自ら手を挙げて一緒に参加しました。障害者も参加できることがあり、横浜市のハザードマップに関しても視覚障害者対応のマップができました。言わなければできないし積極的につながりを求めて活動することで世の中が変わっていくと経験できたことに感謝したいと思います。今回のフォーラムでは表彰されるようなので、気を引き締めてやっていきたいです。

（日向委員）高齢者としてコロナ後は少し沈みがちになってきています。そこで私ども老人会でも健康づくり、仲間づくり、生きがいがづくりに力を入れて頑張っているところです。今回も老人会加入率を計画に載せていただきありがとうございました。老人会では年2回広報誌を出しております。90周年の時に続いて、今回もPRしようと思っていますのでよろしく願いいたします。

（石井委員）参加時はコロナ禍でボランティア分科会メンバーがほぼ活動を終了していく時期でした。皆さまとテーブルを囲んで議論する中で、ボランティアは気軽にたすけあいをするものと感じられました。また、お正月にごみ収集の方から丁寧な年始あいさつをいただきました。ちょっとしたことではありますが、あいさつは大事なことだと感じ、本当に嬉しかったです。分科会長として、少しでもできることをしていこうという気になりました。ボランティア分科会は自分たちの活動が一生懸命で横のつながりが薄いですが、自身にとって、根本的なお互い様の関係が大事で自分たちも支えられていることに気づきました。根本的なボランティアの心を教えてもらっています。

先日も地域活動ホーム幹を見学させていただきました。横のつながりを大切にしながら活動していきたいと思います。

（宮野委員）今回のあいねっとの冊子は、イメージと違って、明るくて見やすいです。1章のところで民生委員の充足率などいろいろな数字が出ていますが、普段分かっているようで分かっていないところを取り上げられていて非常にありがたいと思っています。地区社協は地域では様々なことを支援しています。最近、朝方電話があり、水道が噴き出しているという話があり、すぐ連絡して止めてもらったこともありました。また、急にご逝去された方などもおり、必要な機関につなげたこともあります。ネットワークやつながりは大事なので、必要に応じて関係者、機関につなげられるネットワーク、つながりを生かしていければよいと思います。

（板山委員）2年間本当にありがとうございました。地域ケアプラザは、「あいねっと」に関してはどちらかというと事務局として関わる機会が多く、意見を求める側でしたので、今まで求められるというのはあまりなかったのですが、今回こういう形で自由に発言をさせていただきました。その結果、とても良いものができたのではないかとということで、関わらせていただいて本当にありがとうございます。ケアプラザ自体としても今後の計画も立ちましたので、今後また地域の方といろいろお話し合いをしてまた何をやっていくとか考えていくことになると思います。いろいろ地域の方と関わっていく中でその地域に愛着を持ってもらえたり関心を持ってもらいたい、ということはよく伺ったりしますし、子どものうちから地域に愛着を持ってもらいたいという話もよく聞きますので、冊子を小学校や子どもたちに配ったりといった活動もできたらいいのではないかと考えております。動画も冊子もいいものができましたので、これをうまく活用できるようにいろいろ考えていきたいと考えております。ありがとうございました。

（小林委員長）第5期計画策定、大変お疲れ様でした。先ほどからお話があるように、大変素晴らしい冊子ができたと思います。皆さまの熱意、熱量を感じまして、いろいろ計画冊子を作るのに何度も何度も訂正を加えています。分かりやすく、見やすく、文字の大きさ、色の問題等々、細かく修正をかけているなど、皆さまの熱意、熱量を感じて、本当に感心しました。いいものができましたので、我々の地域としては一つでも多く皆さまにお届けして、このあいねっとのパワーを地域の方々にお伝えし、住みやすい鶴見にしていきたいと思っています。今後とも皆さまよろしく願いいたします。

（八森副委員長）今回の冊子の計画の内容等については、皆さまからのご承認の言葉をたくさんいただきました。私も長く関わっていますが、今回、今まで以上に、本当に委員の皆さまの満足感が高かったのだということを感じました。これも多分、皆さまそれぞれ意見が言えたということと、加えて、皆さまの意見が反映されたという実感があること、それをうまく表現したということ、そういうことの現れかなと思っています。これから告知をしてフォーラムでも伝えていきつつ、これから実践していくという過程で、皆さまから頑張っていくというお言葉もいただきましたので、これからますます「あいねっと」が発展していくのではないかと考えています。今回は事務局からも一言いただきたいと思っています。

<事務局>

(区区政推進課地域力担当課長) 計画冊子を見ると当たり前には皆さまやっていることが大事なことで改めて感じています。昨日、矢向中学校の生徒が職業体験で区に来ていたので、話し合いに参加してもらった。地域のよいところを聞いてみたら、「地域の方が優しい」「車が止まってくれる、挨拶してくれる」とのことだった。大事なことは基本的なことだった。皆さまと一緒に鶴見・あいねつとを推進、支援をしながら自分たちも学べるものだと感じています。

(区生活支援課担当課長) 生活支援課では困窮者支援に努めています。地域の方には日ごろからご支援、ご理解、ご協力をいただいています。市場地区を担当しており、移動販売を見学しました。アットホームなあたたかい雰囲気、とてもより取組でした。生活支援課としては、生活保護のことだけでなく、困窮者支援も行っている。主に就労支援、居住支援、家計相談を行っております。困っている方がいたら周知をお願いいたします。

(区子ども家庭支援課長) 子ども家庭支援課としては妊娠出産子育てまで切れ目のない支援を大切にしています。実際は保育園、幼稚園、学校、障害児の利用施設など、ライフステージが変わるごとに制度支援に切れ目があることを認識しています。暮らしの場、生活の場である地域は年齢、障害の有無、経済状況等にかかわらず人と人がつながりのある場所だと感じています。また、地域は制度を補う、子どもや家庭を支える基盤になっていると改めて感じました。いじめ、ヤングケアラーなど、子どもを取り巻く環境は変化しています。一人ひとりの子どもが笑顔で過ごせる鶴見を目指したいと思います。

地域の中でのちょっとした声掛け、知り合いがいること、環境が子どもを豊かにし、大人を信用できる場となるかと思っています。それぞれの居場所を充実させるとともに、皆さまとともに計画を推進していきたいと思っています。

(区高齢・障害支援課長) 高齢、障害分野は市で計画をそれぞれ策定しています。障害者プラン、よこはまポジティブエイジング計画に基づき市として取組を進めています。区のアクションプランも策定し、推進しています。資料は資料5に添付しております。数字だけにフォーカスすると顔が見えづらくなりがちですが、場ができるためには一人ひとりの関わりが大事だと感じています。今回の鶴見・あいねつとは関わる一人ひとりの顔が見える計画になっていると思います。

よこはまポジティブエイジング計画の認知度は8%ほど。それに比べると鶴見・あいねつとはかなり認知度があるかと思っています。見守り、つながりといわれますが、一人ひとりの顔が見えることが大事。移動販売も販売という事実より誰が関わっているか、どう関わっているかなどが大事だと思っています。市場地区の事例では高齢者支援としてカフェも行っている。今回、区内のオレンジカフェをまとめた冊子も完成しました。障害、高齢に関わらず、鶴見に住んでいる仲間として関わる計画が鶴見・あいねつとでできていると感じています。

(区社会福祉協議会事務局長) 策定、推進の協働事務局の立場に関わっています。皆さまのご意見を反映し、いい形で策定ができたと思います。移動販売は磯子区、神奈川区など他の区で展開していたのが、鶴見では昨年度の終わりに展開が始まり、1年で13か所となりました。地域が協

力的で地域主体で開催することができています。今後も区社協の会員組織としてのネットワークを活用しながら、推進していきたいと思っています。特に地区社協の活動支援、推進をしっかり進めていきたいと思っています。

（区福祉保健課長）福祉保健課は民生委員の事務局でもあり、健康づくり、健康福祉、災害医療も所管しています。つながり、たすけあい、健やかすべての柱にかかわっています。引き続き、それぞれの分野で皆さまと一緒に推進していきます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

（区福祉保健センター長）委員の皆さまからの心温まる言葉、これからのエールをいただき、感謝いたします。第5期鶴見・あいねっとをまとめることができましたが、冊子の内容については委員・地域の皆さまと膝をつきあわせて作ってきたプロセスが大事だと感じています。推進に向けて、これから区内団体と手を取りあい、目指す姿に向かって努めていきたいと感じています。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

（3）その他

特になし

6 閉会

（小林委員長）熱心なご討議ありがとうございました。八森先生、スムーズな進行ありがとうございました。第5期計画の内容が決まってまいりました。本日出た活発なご意見や八森先生のお話を各団体に持ち帰っていただき、それぞれの分野において連携をより一層進めていただければと思います。

以上